



一般社団法人

# エネルギーから経済を考える 経営者ネットワーク会議



☆地域の中小企業の経営者の集まりです。

☆地域に密着した現場での嗅覚を持つ『坑道のカナリア』として、問題を察知し、警鐘を鳴らし、課題を明確にします。

☆自ら行動を起こし、解決に向けてのアクションの実例を示し、他者の行動と社会の変革を促すことを目指します。

## 活動の目的

地域の暮らしの血流である地域経済を下から支える役割を担う中小企業が元気に活躍するためには、自助努力と共に、地域に資金が循環する環境を整備する必要があります。その重要な要素のひとつはエネルギーで、具体的には「省エネ」と「再生可能エネルギーの地産地消」です。それらを実現するには、個々の中小企業がそれぞれに取り組んでいくことと併せ、地域のステークホルダーが挙って中長期に亘る地域でのエネルギー計画の策定と実施に連携・協力していくことが有効だと考えます。

## 主な活動

### 1. 発信と啓発

持続可能な地域を創る」という理念の下、エネルギーを地域の課題解決と持続可能なまちづくりのツールと捉え、「持続可能な地域経済は持続可能なエネルギーで」の必要性を、「エネルギーなんでも相談所」の活動やワーキンググループによる調査研究での実例を示しながら、発信し続けます。

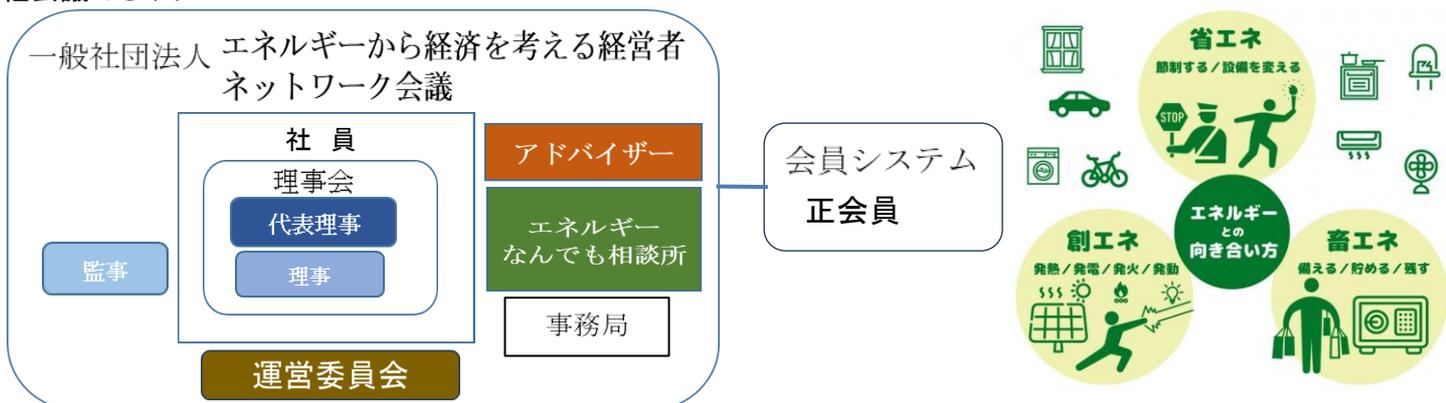
### 2. 会員のエネルギー問題の解決の手伝い(省エネと創エネの促進)

エネルギーに関するプロ集団である「エネルギー何でも相談所」が省エネ診断と改善提案を通じて、各社のエネルギーシステム改革を支援します。

### 3. 他団体との連携・協力

- \* 当社の理念と活動を商工会議所等の地域経済団体、地方自治体、中小企業経営者に伝え、理解と賛同を促します。
- \* 当社が発起人である「気候変動イニシアチブ(JCI)」などを通じ政府にも訴えかけていきます。
- \* 地域でのエネルギー事業に興味のある方は、友好団体である「ご当地エネルギー協会」とつなぎます。

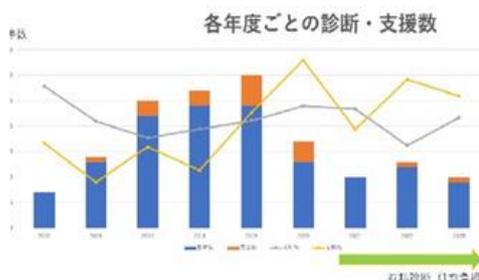
## エネ経会議のしくみ



## エネルギーなんでも相談所

企業活動にはエネルギーは必須のもので、エネルギーコストは経営コストそのものです。エネルギー使用の実態を知り、無駄を省く、より合理的な使用法に転換するなどには経営合理化には欠かせません。エネ経会議では「エネルギーなんでも相談所」の下にエネルギーの専門家を置き、経産省の補助金を使った中小企業の省エネ診断を10年に渡って行っています。診断では、エネルギー使用実態分析、エネルギー使用削減の具体的提案、補助金を使った設備更新など企業目線に沿った診断を行なっています。提案の実施でエネルギーコストが下がり多くの診断対象者から喜ばれておりますので関心があればメールもしくはSNSでご相談ください。

# 01



# 02



# 03

カバーする省エネ技術  
照明、空調、ボイラー・給湯器、  
冷蔵冷凍設備、受変電設備、  
コンプレッサー、建物断熱等  
自家使用太陽光発電等

### 幅広い産業分野への支援実績

診断対象者数は延べ150者以上、対象とする事業所も工場から小規模商店と多岐にわたっております。

### 診断以外支援について

省エネ診断の他にも、建築基準法改正に伴う建築物の省エネ基準の算出および評価サービスの提供、カーボンプライシングに関するSCOPE3相談、補助金申請作業のアシスト等幅広い領域での支援を行っています。

### 専門家による支援体制

省エネ、太陽光発電、バイオマス発電、小水力発電、風力発電等の専門家を擁し、これらの専門家を中心としたテクニカルアドバイザーが会員の皆さまからのお問い合わせ等に対応いたします。

こちらをご覧ください(情報発信)

### SNSでの活動について

Facebookページ(最新情報の発信)

Facebookグループ(事例紹介・質問)



弊団体では、最新情報を発信しているFacebookページやエネルギーなんでも相談所で取り扱った事例の紹介や自社のエネルギーに関する相談ができるFacebookグループを運営しておりますのでぜひご参加ください。

### 入会のご案内

一緒に活動したい、もっと情報に触れてみたい等お考えの方はメール・SNSから是非ご一報ください。

入会には会員2名の推薦者が必要です。(おられない方は事務局にご相談ください)  
年会費1万円です。

 [contact@enekei.sakura.ne.jp](mailto:contact@enekei.sakura.ne.jp)

 <https://enekei.jp/>